# 森とせせらぎネットワークニュース

第8号
2007年11月1日
発行者：平井資嘉寿
編集者：稲本文雄

シンボルマーク

## 「森とせせらぎ祭り」にあたって

実行委員長　平井資嘉寿

江川せせらぎ遊歩道が出来て、阿部市長ご臨席のもとに、完成式典を挙行してから、早四年有余が経過し、毎日のように、ウォーキングやジョギングに、市内外の大勢の方々が利用しています。また、花壇には四季折々の花が咲き、魚貝類は生息できないと言われた「せせらぎ」には、有志の方が放流された鯉、グッピー、ザリガニなどが沢山生息し、とても楽しい憩いの場所となって、定着してきました。又昨年は二組、今年は三組の「かるがも」が飛来してまいりました。春から夏にかけて、せせらぎ育ちの野鳥親子の愛らしさを目前にし、自然観察を通して児童生徒の情操教育に大変役だちました。全市民の皆様が、来年も飛来し、子育てをし、また自然へ帰ることを願っている事と思います。このたびは、このような環境の中で、日本の将来を担う子供たちが、心身ともに健全に育つ事を願いつつ「子ども未来、地域ふれあい、水と緑の街づくり」を、主意として「心のふる里」と言える様な、文化的な「森とせせらぎ祭り」を企画した次第であります。

幸なことに、川崎市、川崎市教育委員会、【財】川崎市文化財団等の後援も頂き、市内多数の有力企業、商店、大勢の特段の有志の皆様より、多大なご支援とご賛助を賜りました。誠に有難うございます。また、学校関係、町会関係、諸団体の皆様のご協賛とご協力に対しまして、衷心より感謝と御礼を申し上げます。

## いよいよ本番、「そんじょそこらにない祭り」

太陽幼稚園理事長　井上一彦

「江川せせらぎ」を心から愛する有志の皆さんと、地域の皆さんが一体となって開催する第1回せせらぎ祭りはいよいよ本番を迎えます。さて、せせらぎの始まり、つまり水源である地点に太陽幼稚園があります。日頃から敷地の横をせせらぎが流れ水辺の生活を園児たちが愉しんでいます。嬉しい、楽しいせせらぎに感謝をこめて今回は伝統的日本の食文化である「餅」を取り上げ、「ほんまもん」の餅つきを行ないます。沢山のお方にお越しいただき、体験したり、味わったりして餅つきの雰囲気や活気を愉しんで欲しいと思います。

## 「バッジ」出来上がる

ネット事務局

中心のシンボルマークは「子ども・未来・地域・ふれあい・水と緑のふるさとづくり」をイメージしたシンボルマークです。江川遊歩道のせせらぎで、しぶきを上げながら嬉々として戯れる子どもの絵です。子どもを大切に育て、未来を託そうとの思いです。色は、背景の円の部分を希望を象徴する鮮やかなオレンジに、後光ならぬ未来からの光線が入っており、子どもが輝いて見えます。体は緑、せせらぎは青で”水と緑”のふるさと作りをあらわしています。ひとみ座に縁の有る片岡さんのデザインです。

## ★祭り本番　ワクワクどきどきイベント勢揃い

―見どころ案内―

こんにちは、11日は“祭りの本番ワクワクどきどきイベント”の勢揃いです。そこで、各セクション（会場）の一部見所を、ご案内しましょう。

◆先ずは、里山会場（中原健康の森・井田ひろば）、ところは井田病院の横です。ここでは、人形アート展が開かれます。地元の専門劇団ひとみ座による人形たち、ひとみ座と云えば「ひょっこりひょうたん島」でお馴染みの劇団です、アート展では、例えば日本のむかしばなしの童子たちが、木漏れ日のなかから（あそぼうよー）と可愛く、呼びかけるかもしれません。オバケ屋敷ではありませんので安心を。

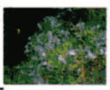
◆もう一つは、小ステージでの「人形落語」です。日本でもめずらしい女流落語家、花伝亭三千歳のオンステージです。隠れ技あり必見。

◆JR武蔵新城駅前（アート・ホール村上2F）第3会場です。「おじいちゃんの戦争のはなし」、94歳の元陸軍兵士の方。84歳の海軍兵士の方、お二人の戦争体験を語っていただきます。戦争を知らずに生れた、お父さん，お母さん、子どもたちとご一緒に貴重なおはなしを聞いて下さい。参加対象は、小学生以上です。

## 森とせせらぎ祭りによせて

・・・XXX・・・・XXX・・竹村トシ子

ある日「せせらぎのお祭りが有りますので、お手伝い頂けますか」お祭り好きな私、即答で「はい宜しくお願い致します」と答えた。五月六日第一回目の実行委員会に参加、二.四キロのせせらぎ遊歩道を全部使ってのお祭り。「そんなどでかいお祭り本当に出来るのかしら?」これから色々と準備をして行くとの事。風が吹くと異臭が漂うとても汚い川、四年前に素晴らしいせせらぎ遊歩道が完成した。毎年カルガモが舞い降りて子育てをし、遊歩道の両側は御近所の方々が美しい草花を植え、歩く



人々の心を癒す遊歩道に変わり環境が良くなると絶えず子供達の楽しそうな会話、陸上選手のトレーニング、お年寄りの散歩道、朝から夕方遅く迄、人が耐えずに歩き走っている。こんな素敵な遊歩道、遠くの老人会、子供会の人達がおにぎりと水筒を持って散歩に来てる。『ここでお祭りがあるそうですが、どの辺でお祭りをするのですか』、と聞かれ「太陽幼稚園から森迄です」と答えると、必ず吃驚（きっきょう）する『そんなお祭り本当に出来るのですか』と聞かれ、今では、胸を張って「出来るのです」と答える、善意有る人の力は素晴らしい、無理を可能に導く。ある老人会は、バスを二台借り切ってお祭りに来るとの事です。当日は絶対に晴天に恵まれます事を祈るのみです。人とあらゆる生き物と地球に優しいお祭りが出来ます様に、遊歩道を歩かれている方々の願いです。

◆第1会場は、新城児童公園前の太陽第一幼稚園庭。題して「日本の食文化を楽しもう」智恵者、園長さんの本物子育て志向実体験の開演。もちつき、の完全ノーハウ「ふかす」「こねる」「つく」「ちぎる」「まぶす」「食す」「味わう」「粋に」など、幼児と、ご一緒に日本の天高くを味わって見ませんか。必味。

◆見所の一番は、沿線：水廊は、江川橋周辺での「水車からくり」の実演即興解説つき、江戸時代に作製され、鹿児島県知覧町に奉納、今回、財団法人現代人形劇センター協賛によって公開されます。からくりは日本のもの作りの原点ですが、鯨ひげぜンマイの「茶運び」人形は、つとに有名ですが、今回のからくりは農村の小川を原動力にし、いっきに何体もの人形を従横に操作する凄さに、現代人も祖先の懐古を楽しむよいチャンス。1日5回実演。

◆おなじ沿線：水廊「中原・高津今昔写真パネル展」30点。さくらプロムナード協力：「東横沿線」。キヤプション付きと今日の風景の対比写真。

◆特別会場、中央会場裏手井田子ども文化センター展示コーナー　下平健一郎氏　「江川遊歩道の四季」。地元画家の見事な佳作。上記のパネル展と共通するのは、この絵が10余年を経たら、今よりも尚、光彩を放つ画力を秘める魅力にあります、ご高覧とご公評を。

●以上みどころは他にいくつもあります。

※なお、中央会場のイベントは、パンフレットをご覧ください。お近くのネット役員まで。当日も各会場受付にて配布しますので、ご覧下さい。会したイベントは、すべて無料ですが、一部受益者負担があります、パンフレットで参照下さい。それではみなさま、祭りが最良の一日なりますように。

企画部　石川嘉輝

## 第2回「せせらぎ菊花展」開かれる

松本浩次郎

朝夕の空気が少し肌寒く感じられる季節になりました。花つくり愛好家のハウスで、黄色や白の菊花が開き始めました。昨年十一月に始めた「せせらぎ菊花展」が、今年も十月末から開かれます。丹精こめて、見事に咲き誇る菊花の提供者は、内藤雅光さんを中心とする「下小田中菊花会」のみなさん、「菊花展表札」は明津・山善工務店さんと加藤敬さん、毎日の水遣りと展示運営は明津ボランテイア部の有志と、大勢の人々の輪・和も開きました。清楚でいて豪華、爽やかでいて匂いたつ大輪の菊花が、十一月十一日（日）の『森とせせらぎ祭り』にも彩りを添えてくれるでしょう。

裏面もご覧下さい

### 編集係より

「森とせせらぎ」ねっとでは、皆様のご投稿をお待ちしています。内容は、まちづくりに気付きました事等、是非ご連絡下さい。

Mail:fumina5371@aol.com